

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第1号

令和4年4月18日



# とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103



七中 HP URL

## 新年度が始まりました

校長 水越 伸朗

4月1日に着任した校長の水越 伸朗（みずこし のぶお）です。明るく元気、そして大きな声であいさつのできる子どもたち、また、学校を支えてくださる保護者の皆様、地域の方々に囲まれた、立川第七中学校に着任できたことをとても誇りに、うれしく感じております。これからの新たな時代を支えていく七中生が充実した学校生活を送り、心豊かな人となるよう教育活動を進めてまいります。今後とも、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

さて、4月7日の入学式で新入生を迎え、全校生徒467名で令和4年度が始まりました。入学式の式辞では、教育目標について触れました。新入生だけでなく、2・3年生も含めた、七中生全員に向けたメッセージでもありますので掲載します。



～入学式式辞より抜粋～

さて、立川第七中学校で過ごす、3年間の中学校生活の出発にあたり、教育目標にある3つのことについて、お話いたします。

まず第1は、「深く考え すすんで学ぶ」ということです。

この、考えることと学ぶことは大変深くつながっています。例えば勉強する時には「なぜなのだろう」と考えます。考えた結果答えが出て、それが自分の身につくことが学ぶことになるのです。たとえ、結果がうまくいかなかったとしても、そこから学ぶことができるのです。ですから、深く考えて学ぶことが必要になるのです。

第2は「温かく思いやり 正しく行う」ということです。

人間は一人では生きていけません。家族や仲間、学校、習い事といった、様々な集団に所属して生活しています。学校の中でも、学級や学年、委員会、部活動といった様々な集団があります。そういった集団の中で生活するためには、相手のことを考えて行動しなくてはなりません。その基本となるのが周りの人たちへの思いやりです。思いやりがあればこそ、お互いに協力して支えあって生活することができるのです。思いやりの心は決して忘れないください。

第3は「たくましく鍛え みずから創る」ということです。

鍛えるという言葉を知ると、たくさん運動をして、いっぱい食べて身体を逞しくすることを想像すると思います。もちろん、そうやって体を鍛えることは大切なことです。中学生として適切に運動して、食事を摂って健康な体を創ってほしいと思います。実は、この言葉にはもう一つの意味があります。それは、心を鍛えるということです。時には誰もが「勉強したくないな」とか「遊んでいたいな」など、やらなくてはならないことがあるのに、「やらないで済ませてしまおうかな」と思うことがあります。そういった誘惑に負けず、やるべきことを確実に行うためには、心を鍛えなくてはなりません。それが、「たくましく鍛える」ということになるのです。ぜひ、心も身体も鍛えて、人として成長してほしいと思います。